

道の駅への期待

NPO 法人ネットジャーナリスト協会 巻島大樹氏

15年前から全国の優れた地域づくり団体を紹介する動画制作を行ってしています。具体的には総務省が毎年表彰する「ふるさとづくり大賞」の受賞団体です。制作した動画はユーチューブチャンネル「地域づくりTV」で配信しています。これまでに100以上の地域団体を取材しました。

この仕事から生まれた縁で昨年、思いがけない経験をしました。「日本の地域活性化の事例を海外の人に紹介してほしい」という依頼が舞い込んだのです。オフアアをいただいたのは群馬県甘楽町のNPO自然塾寺子屋さんです。メンバーは3人でJICA（国際協力機構）が発展途上国に派遣する青年海外協力隊の経験者。東京から100km以上離れた農村からJICAのグローバルな研修を数多くコーディネートしています。

その自然塾寺子屋さんが昨年10月に開催したJICAの研修が「地域振興に向けたブランド

地域の魅力をグローバルに発信

イング」です。対象はグアテマラ、メキシコ等中南米9カ国で各国の行政官（観光・農業、職業訓練校の講師等）約20人がオンライン参加しました。

私はコメンテーターとして道の駅をはじめ、アンテナショップ、酒蔵ツーリズムなど日本の

地域活性化の事例を動画で紹介しました。研修生の関心を最も集めたのが「道の駅」です。「イベントを開催する時どうPRすればよいのか」「道の駅で販売する商品の金額設定」など、具体的な質問がありました。このオンライン研修が好評だ



ユーチューブチャンネル「スタジオマキシマム」を開設。富山県氷見市で林道整備活動をする地域団体の動画作成や配信。ネットジャーナリスト協会の動画部門所属の地域活性化ジャーナリスト。

ったことから今年2月、モンゴルを対象に同様の研修が行われました。モンゴル各地の自治体と民間企業からなんと250人がオンライン参加しました。こちらも道の駅が高い関心を集めました。

私自身、JICAの研修を通じて道の駅が世界に誇る地域活性化の仕組みであることを知りました。これを道の駅に関わる皆様に伝えたいのです。今後、微力ながら日本の地域の魅力をグローバルに発信していきたいと思えます。